

吳		縣根島		市取島		市良奈		市都京		市屋古名	
年	人口一萬ニ對スル	年	人口一萬ニ對スル	年	人口一萬ニ對スル	年	人口一萬ニ對スル	年	人口一萬ニ對スル	年	人口一萬ニ對スル
死	患者ニ對スル	死	患者ニ對スル	死	患者ニ對スル	死	患者ニ對スル	死	患者ニ對スル	死	患者ニ對スル
亡	%	亡	%	亡	%	亡	%	亡	%	亡	%
大正	0.15	大正	0.15	大正	0.15	大正	0.15	大正	0.15	大正	0.15
二	1.2	二	1.2	二	1.2	二	1.2	二	1.2	二	1.2
三	1.6	三	1.6	三	1.6	三	1.6	三	1.6	三	1.6
四	2.0	四	2.0	四	2.0	四	2.0	四	2.0	四	2.0
五	3.9	五	3.9	五	3.9	五	3.9	五	3.9	五	3.9
六	5.9	六	5.9	六	5.9	六	5.9	六	5.9	六	5.9
七	6.3	七	6.3	七	6.3	七	6.3	七	6.3	七	6.3
八	7.0	八	7.0	八	7.0	八	7.0	八	7.0	八	7.0
九	7.0	九	7.0	九	7.0	九	7.0	九	7.0	九	7.0
一〇	7.0	一〇	7.0	一〇	7.0	一〇	7.0	一〇	7.0	一〇	7.0
一一	7.0	一一	7.0	一一	7.0	一一	7.0	一一	7.0	一一	7.0
一二	7.0	一二	7.0	一二	7.0	一二	7.0	一二	7.0	一二	7.0
一三	7.0	一三	7.0	一三	7.0	一三	7.0	一三	7.0	一三	7.0
一四	7.0	一四	7.0	一四	7.0	一四	7.0	一四	7.0	一四	7.0
一五	7.0	一五	7.0	一五	7.0	一五	7.0	一五	7.0	一五	7.0
一六	7.0	一六	7.0	一六	7.0	一六	7.0	一六	7.0	一六	7.0
一七	7.0	一七	7.0	一七	7.0	一七	7.0	一七	7.0	一七	7.0
一八	7.0	一八	7.0	一八	7.0	一八	7.0	一八	7.0	一八	7.0
一九	7.0	一九	7.0	一九	7.0	一九	7.0	一九	7.0	一九	7.0
二〇	7.0	二〇	7.0	二〇	7.0	二〇	7.0	二〇	7.0	二〇	7.0

町川掛		町取稻		町海熱		市湯新		市崎川		場調所
年	人口一萬ニ對スル	年	人口一萬ニ對スル	年	人口一萬ニ對スル	年	人口一萬ニ對スル	年	人口一萬ニ對スル	種
死	患者ニ對スル	死	患者ニ對スル	死	患者ニ對スル	死	患者ニ對スル	死	患者ニ對スル	別
亡	%	亡	%	亡	%	亡	%	亡	%	
大正	0.15	大正	0.15	大正	0.15	大正	0.15	大正	0.15	水道
二	1.2	二	1.2	二	1.2	二	1.2	二	1.2	完成
三	1.6	三	1.6	三	1.6	三	1.6	三	1.6	前
四	2.0	四	2.0	四	2.0	四	2.0	四	2.0	
五	3.9	五	3.9	五	3.9	五	3.9	五	3.9	水道
六	5.9	六	5.9	六	5.9	六	5.9	六	5.9	完成
七	6.3	七	6.3	七	6.3	七	6.3	七	6.3	後
八	7.0	八	7.0	八	7.0	八	7.0	八	7.0	
九	7.0	九	7.0	九	7.0	九	7.0	九	7.0	
一〇	7.0	一〇	7.0	一〇	7.0	一〇	7.0	一〇	7.0	
一一	7.0	一一	7.0	一一	7.0	一一	7.0	一一	7.0	
一二	7.0	一二	7.0	一二	7.0	一二	7.0	一二	7.0	
一三	7.0	一三	7.0	一三	7.0	一三	7.0	一三	7.0	
一四	7.0	一四	7.0	一四	7.0	一四	7.0	一四	7.0	
一五	7.0	一五	7.0	一五	7.0	一五	7.0	一五	7.0	
一六	7.0	一六	7.0	一六	7.0	一六	7.0	一六	7.0	
一七	7.0	一七	7.0	一七	7.0	一七	7.0	一七	7.0	
一八	7.0	一八	7.0	一八	7.0	一八	7.0	一八	7.0	
一九	7.0	一九	7.0	一九	7.0	一九	7.0	一九	7.0	
二〇	7.0	二〇	7.0	二〇	7.0	二〇	7.0	二〇	7.0	

場所	種別	市				町府別				市賀佐				市時長				市保世佐				時高			
		死者ニ對スル%	人口一萬ニ對スル	患者ニ對スル%	死者ニ對スル%	死者ニ對スル%	人口一萬ニ對スル	患者ニ對スル%	死者ニ對スル%	死者ニ對スル%	人口一萬ニ對スル	患者ニ對スル%	死者ニ對スル%	死者ニ對スル%	人口一萬ニ對スル	患者ニ對スル%	死者ニ對スル%	死者ニ對スル%	人口一萬ニ對スル	患者ニ對スル%	死者ニ對スル%	死者ニ對スル%			
水道完成前	水	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00			
		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
水道完成後	水	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00			
		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		

市	死者ニ對スル%	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
---	---------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

附記 (秋田縣 東京府 兵庫縣 大阪府 岡山縣 山口縣 香川縣 鹿兒島縣へ回答未着ニ付除ク)

上水道完成後赤痢患者發生ノ増加セル箇所

道府縣名

布設箇所

北海道	北海	茨城	埼玉	静岡	愛知	京都	廣島	佐賀	長崎	宮城	栃木	群馬	小樽市	水戸市	秩父町	掛川町	名古屋	京都市	吳市	佐賀市	佐世保市	仙台市	宇都宮市	高崎市
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	------	-----	------	-----

上水道完成後赤痢患者發生ノ減少セル箇所

神奈川縣	川崎市
新潟縣	新潟市
静岡県	熱海市
同	稻取町
奈良縣	奈良市
鳥取縣	鳥取市
大分縣	別府町

上水道施設後ニ於ケル赤痢患者發生ノ消長ハ前表ノ如ク二十二箇所中九箇所ハ水道完成前ニ比シ稍々増率ヲ示シ十二箇所ハ完成後患者ノ發生ハ幾分減少或ハ消滅セル箇所アリ

第二節 井水ノ「クロール」石灰消毒ト赤痢患者發生ノ消長

一、流行場所

板野郡北島村宇中村ハ徳島市撫養町間ノ交通頻繁ナル要路ニシテ人家櫛比シ耕農ノ傍ラ商業ヲ營ムモノ大部分ヲ占メ其ノ戸數五七戸、人口二七〇名ヲ算ス

二、流行ノ概要

初發患者落〇茂〇(三歳)ニ對スル發病狀況ヲ調査スルニ本年六月中旬母親ト共ニ隣村ナル川内村ニ旅行シ歸宅スルニ當時既ニ發病シ六月二十三日赤痢トシテ發見シ傳染病舎ニ收容セリ然ルニ母親ハ旅行中既ニ赤痢様疾患ヲ經過セルモ輕症ナリシヲ以テ醫治ヲ要セス治癒ニ至レル事實アリ次テ近隣住民ニ傳播シ三六名ノ患者ヲ發生シ十一月二十四日

終熄セリ

三、豫防措置

同地ヲ視察スルニ當時既ニ患者六名ヲ發生シ患家及其ノ附近ニ於ケル井戸ノ構造ハ最モ不完全ニシテ周圍ノ汚水容易ニ浸入シ赤痢傳播上ニ緊密ナル關係ヲ有スルモノト認メ之カ對策トシテ共同井戸五箇専用井戸十三箇ニ就キ「クロール」石灰ヲ以テ持續的消毒ヲ施行シ一面其ノ後發生狀況ヲ觀察セリ

四、消毒方法

飲料水ノ清淨方法トシテハ「トラウベ」ハ千八百九十四年「クロール」石灰ヲ用ヒ殺菌ノ目的ヲ達シ米國ニ於テカアステンハ千九百十四年上水道水清淨ノ目的ヲ以テ多數ニ應用セリ(ウルマン化學全書第十一卷)

本邦ニ於テハ多數學者ノ「クロール」石灰消毒ニ對シ精密ナル研究ノ結果有效ナルモノトシテ井戸ノ消毒ニ賞用スルニ至レリ

余ハ本流行カ飲料水ニヨリ傳染セルモノト推定シ他ニ特殊ナル豫防施設ヲ行ハス流行區域ノ井戸水ヲ嚴密ナル注意ノ下ニ「クロール」石灰ヲ以テ持續的ニ消毒ヲ施行シ其間ノ赤痢患者發生狀況ヲ觀察セリ

ソノ方法ハ日本藥局方「クロール」石灰ヲ更ニ有效鹽素含有量ヲ檢定シ水質、水溫水量ノ増減等ヲ精密ニ調査シ有效鹽素量二十萬分ノ一ニ相當スル量ヲ持續的ニ日數三十日間毎日早朝投入シタリ

五、井戸ノ構造

患者發生區域ノ井戸ノ構造竝ニ周圍トノ關係ヲ調査スルニ左表ノ如シ

番 號	井 戸 構 成 材 料	口 徑	水 深	位 置 及 其 他	備 考	氏 名
一	木	二・五	三・〇	用水トノ格 連用水 へ流出ス	無	小○銀○郎
二	瓦	二・〇	四・〇	同	同	貴○圓○郎
三	コンクリート	三・〇	四・五	同	同	三○芳○郎
四	瓦	二・五	二・五	同	共同	落○茂○郎
五	瓦	二・五	三・〇	同	共同	山○源○郎
六	コンクリート	二・五	三・〇	同	個人	三○美○郎
七	コンクリート	三・〇	四・五	同	同	福○イ○郎
八	瓦	二・五	三・五	同	同	福○常○郎
九	土	二・〇	三・〇	同	同	駐○所
一〇	瓦	三・〇	四・〇	同	同	忠○兵○衛○門
一一	瓦	三・〇	四・〇	同	同	北○村○場
一二	土	二・五	三・〇	同	同	齋○幸○郎
一三	瓦	二・五	三・五	同	共同	大○喜○郎
一四	瓦	二・五	四・〇	同	個人	東○源○郎
一五	土	二・〇	三・〇	同	同	坂○義○郎

井戸構成ノ材料ハ十八箇中九箇ハ瓦ヲ使用シ三箇ハ「コンクリート」他ノ六箇ハ土管及木製ナリ
十八箇中五箇ハ共同ニ使用ス井戸ノ周圍ニハ灌溉用水汚水溜等アリ且ツ吸水方法トシテ唧筒式ハ僅ニ一箇ニシテ他ハ
釣瓶ヲ使用スルヲ以テ井水ヲ汚染シ易キ状態ニアリ
六、水質試験成績
井戸水ノ化學的ニ大腸菌ヲ検査スルニ成績左表ノ如シ

番 號	外 観	臭 味	反 應	硫 酸	クロール	硝 酸	亜 硝 酸	ニ ア ム	過 滿 酸 消 費 量	硬 度	大 腸 菌	適 否
一六	土 管		二・五	四・五	同	二	同	同	共 同	益 〇	利 〇	次
一七	土 管		二・五	四・〇	餘 水 ヲ 用 水 へ 流 出	二	同	同	個 人	宮 〇	ト 〇	ノ
一八	瓦		二・五	三・五	無	三	同	同	共 同	富 〇	藤 〇	〇

番 號	外 観	臭 味	反 應	硫 酸	クロール	硝 酸	亜 硝 酸	ニ ア ム	過 滿 酸 消 費 量	硬 度	大 腸 菌	適 否
一	無 透 明 色	異 狀 ナ シ	弱 アル カリ 性	少 量	二・四	同	同	同	二・〇	二・四	+	適
二	同	同	同	同	三・八	同	同	同	二・〇	一・四	+	同
三	同	同	同	同	二・四	同	同	同	〇・八	一・四	-	同
四	同	同	同	同	二・四	同	同	同	〇・八	一・四	-	同
五	同	同	アル カリ 性	同	二・四	同	同	同	一・三	一・四	-	同
六	同	同	アル カリ 性	同	二・四	同	同	同	一・三	一・四	-	同
七	微 濁 濁	同	同	同	三・〇	同	同	同	〇・七	一・四	+	同 (濾過)

化學的検査ノ結果ニ依レハ大部分飲料ニ適スルモノニシテ殊ニ「アンモニア」ノ檢出セサルハ奇異ノ感ヲ抱ケリ、大腸菌ハ十八箇中十三箇七二%ヲ檢出セリ

七、井戸消毒前ニ於ケル患者發生數

番號	外觀	臭味	反應	硫酸	クロール	硝酸	亞硝酸	ニアンモ	過滿俺酸 カリウム 消費量	硬度	大腸菌	適否
一八	微濁濁	同	同	同	二・四	同	同	同	〇・七	一・六	+	同 (濾過)
一七	同	同	同	同	二・五	同	同	同	〇・八	一・六	-	同
一六	透無 明色	同	同	同	二・四	七檢 ス出	同	同	〇・八	一・六	-	適
一五	同	同	同	同	二・九	痕跡	同	同	一・三	二・四	+	同
一四	同	同	同	同	一〇・六	同	同	同	〇・六	二・三	+	同
一三	同	同	同	同	一五・九	同	同	同	一・三	一・四	+	同
一二	同	異狀ナシ	性アルカリ	同	二・四	七檢 ス出	同	同	〇・九	一・四	+	適 (濾過)
一一	同	異臭味 (セプト臭)	性アルカリ	同	二・九	痕跡	同	同	二・六	二・二	+	否 (濾過)
一〇	微濁濁	同	同	同	二・三	同	同	同	一・三	一・三	+	同
九	透無 明色	異狀ナシ	同	同	二・五	同	同	同	〇・八	一・三	+	適
八	微濁濁	異臭味	性アルカリ	少量	二・九	七檢 ス出	同	同	一・三	一・三	+	否

發病月日	發見月日	氏名
六月二十五日	六月二十三日	落 茂
六月二十三日	同	中 敏
六月二十日	同	福 喜
六月二十二日	同	福 マ
同	同	福 恒

初發患者落○ハ共同井戸ニシテ其使用者ヨリ六月二十三日五名ノ患者發見セリ

八、持續的井戸消毒後ノ患者續發狀況

六月二十四日ヨリ「クロール」石灰ヲ以テ井戸ノ消毒ヲ開始シ七月三十日ニ至ル三十日間持續的ニ消毒セリ

消毒開始月日	發病月日	消毒開始日ヨリ數	氏名
六月二十四日	六月二十五日	二日	佐 善
同	同	二日	佐 〇
同	同	二日	福 マ
同	同	二日	福 〇
同	同	二日	三 マ
同	六月二十八日	五日	佐 萬
同	六月二十九日	六日	山 甚
同	八月二十一日	二八日	福 〇

消毒開始月日	發病月日	消毒開始ノ日ヨリ數	氏名
六月二十四日	八月三十一日	三七日	宮 種 郎
同	六月三十日	七日	福 名 郎
同	六月二十九日	六日	佐 名 郎
同	六月三十日	七日	中 名 郎
同	七月八日	一五日	高 名 郎
同	七月十一日	一八日	吉 名 郎
同	七月十七日	二四日	木 名 郎
同	七月十八日	二六日	阿 名 郎
同	七月二十日	二七日	志 名 郎
同	七月二十三日	三〇日	北 名 郎
同	七月二十四日	三一日	阿 名 郎
同	七月二十九日	三七日	濱 名 郎

井戸消毒後ニ於ケル患者續發狀態ヲ觀察スルニ消毒開始後二日乃至七日ニシテ發病セルモノ八名アリ之等ハ消毒以前ニ於テ既ニ病毒ニ感染シ潜伏期中ニアリシモノナランモ十五日乃至三十七日ニシテ尙一名ノ患者發生セリ
九、消毒中止後ノ發生患者

消毒中止月日	發病月日	初發患者ヨリ本患者發病迄ノ日數	氏名
七月三十一日	八月二十五日	六十五日	佐 名 郎
同	八月二十日	七十日	落 名 郎
同	八月二十日	七十日	川 名 郎
同	八月二十六日	七十六日	小 名 郎
同	八月二十七日	七十七日	濱 名 郎
同	八月二十七日	七十七日	生 名 郎
同	八月二十八日	七十八日	小 名 郎
同	八月三十日	八十日	小 名 郎
同	九月三日	八十四日	中 名 郎
同	九月五日	八十六日	濱 名 郎
同	九月六日	八十七日	濱 名 郎
同	九月十一日	九十二日	中 名 郎

「クロール」石灰ヲ以テ井戸消毒ヲ三十日間持續セルモ發生ヲ防遏スルヲ得サリシ爲遂ニ之ヲ中止セシカ其ノ後二名ノ患者發生ヲ以テ終熄セリ流行期間ハ八十二日發生患者總數ハ三六名ナリ

第三節 井水ト大腸菌ノ關係

水カ消化器性傳染病ノ媒介者タルハ疑ヒヲ容レサルトコロニシテ水系ニ因リ大流行ヲ來セシ事例尠カラス
 然ルニ農村ニ於ケル飲料水ノ供給ハ常ニ井水ヲ以テ主トスルニ拘ラス思ヒ思ヒノ構造ヲ以テシ衛生的ニ顧慮スルコト
 ナキヲ以テ一度傳染病ノ發生セムカ石灰或ハ「クロール」石灰ノ只一回ノ消毒ヲ以テ足レリトシ飲料適否ノ判定ハ單ニ
 化學的反應ニ俟テ之ヲ以テ消化器傳染病豫防ノ措置ヲ爲シタリトシテ安ンスルノ状態ナルハ餘リニ物足りヌ感アリ
 大正十四年徳島縣板野郡藍園村ノ五六〇箇ノ井水ニ就キ赤痢豫防策ノ一資料トセムカ爲化學的並細菌學的検査ヲ施行
 シタリ

一、井水ノ化學的成分ト大腸菌ノ關係

飲料水ノ化學的成分ト大腸菌ノ陽性率ヲ觀ルニ左表ノ如シ

化學的成分	井戸數	大腸菌陽性數	同上百分率
クロール含有量	〇—三〇	一七三	八六・三
	三〇—六〇	一九四	八六・六
アンモニアノ有無	含有スルモノ	一九八	八七・九
	含有セサルモノ	七四	八一・三
亞硝酸ノ有無	含有スルモノ	四七四	八八・六
	含有セサルモノ	七	八五・七
亞硝酸ノ有無	含有セサルモノ	五五八	八七・六

硝酸ノ有無	硫酸ノ有無	過滿 カリウム消費量	井戸數	アンモニア含有井戸數	同上百分率
含有セサルモノ	含有セサルモノ	〇—一〇	二	二	一〇〇・〇
含有セサルモノ	含有スルモノ	一〇—二〇	二	七	二五・〇
含有セサルモノ	含有セサルモノ	二〇以上	三	六	一五・〇

大腸菌ノ陽性率ハ化學的成分ノ如何ニ拘ラス全部八〇%以上ヲ示シ。殊ニ奇現象ヲ呈セルハ「アンモニア」ヲ含有スル
 モノニ八一%ニシテ、「アンモニア」ヲ含有セサルモノニ八八・六%ノ高率ヲ示セルコトナリ
 之ヲ以テ見レハ井水中ニ於ケル「アンモニア」ノ含有如何ハ大腸菌ノ消長ニハ影響尠キモノノ如シ
 二、便所井戸ノ距離ト「アンモニア」トノ關係
 便所ト井戸トノ距離ト「アンモニア」含有ノ關係ヲ調査スルニ左ノ如シ

便所井戸間ノ距離	井戸數	アンモニア含有井戸數	同上百分率
至一	一一	二	一八・二
至二	二八	七	二五・〇
至三	四〇	六	一五・〇
至四			

便所非戸間ノ距離	井戸數	アンモニア含有井戸數	同上百分率
至自 五五	四二	六	一四・三
至自 五四	三三	九	二七・三
至自 六五	四一	五	一二・二
至自 七六	四一	五	一二・二
至自 八七	三四	六	一七・六
至自 九八	三一	一	三・二
至自 〇九	一三一	三四	二六・〇
至自 一〇	六五	七	一〇・八
至自 一一	四五	四	八・七
至自 一二	五三	四	七・五
至自 一三	六		
至自 一四	四		
計	五六五	九一平均	一八・一

井水中ノ「アンモニア」含有率ヲ井戸ト便所間ノ距離ニ對スルニ検査井戸數五百六十五箇中一八・一%ノ含有率ヲ示ス。一メートル乃至二メートルノ井水ニ一八・二%。二メートル乃至三メートルノモノニ二五%。四メートルノモノニ八一五%。五メートル乃至六メートルノモノニハ最も高率ニシテ二七・三%ヲ示ス。八・九メートルノモノニハ著シク減小シ三・二%ノ低率ヲ示スモ九・一〇メートルノモノニハ二六%ニ増率シ、一〇

一五メートル以上ヨリ減率ノ傾向ニアリ

三〇—四〇メートルノモノニテハ全ク檢出セズ。勿論井水中ノ「アンモニア」含有ノ關係ハ單ニ便所ノミニ因ルモノニアラサルモ、便所ト井戸ノ距離ハ小クモ三〇—四〇メートル以上ノ間隔ヲ考慮スルノ必要アリト認ム

三、井戸ノ構造ト「アンモニア」及亞硝酸ノ關係

井戸ノ構造種別ニ依ル「アンモニア」及亞硝酸ノ含有率ヲ觀ルニ左ノ如シ

井戸ノ種別及井戸測ノ種類	井戸數	アンモニア含有數	同上百分率	亞硝酸含有數	同上百分率
堀井 (木製)	四七九	八六	一八・〇	七	一・五
堀井 (瓦)	四	一	二五・〇		
堀井 (玉石)	九				
堀井 (板石)	六				
堀井 (コンクリート)	六二	三	四・八		
打込井戸	五	一	二〇・〇		
計	五六五	九一	一六・一	七	一・五

井戸ノ構造種別ニヨル「アンモニア」及亞硝酸ノ含有率ハ構造最モ不完全ノモノニ證明セスシテ却テ完全ナルモノニ檢出率高キヲ見タリ

四、便所井戸間ノ距離ト大腸菌ノ關係

便所ト井戸トノ距離ニ依ル大腸菌ノ陽性率ヲ觀ルニ左表ノ如シ

便所井戸ノ距離	井戸数	大腸菌陽性数	同上百分率
至一	一一	八	七二・七
至二	二八	二二	七八・九
至三	四〇	三四	八五・〇
至四	四二	三八	九〇・五
至五	三三	二八	八四・八
至六	四一	三五	八七・八
至七	三四	二七	七九・四
至八	三一	二八	九〇・三
至九	一一	一一	九一・五
至一〇	六五	五九	九〇・八
至一一	四六	三八	八二・六
至一二	五三	五一	九六・二
至一三	六	五	八三・三
至一四	四	一	二五・〇
計	五六五	四九四	平均 八七・四

井水中ノ大腸菌検出率ヲ便所ト井戸ノ距離トヲ對比スルニ検査井水五百六十五箇中八七・四%ノ高率ヲ示セリ。四〇・一五〇メートルノ距離ヲ有スルモノ二五・〇%カ最低率ニシテ其以内ノ距離ノ井水中ニハ七〇%以上九六・二%ノ陽性率ヲ示セリ。便所ト井水ノ距離ハ大腸菌汚染率トハ殆ント没交渉ニシテ何等ノ意義ヲ見出スコトヲ得ス

五、井戸ノ構造ト大腸菌ノ關係

井戸ノ構造及井戸側ノ種類ト大腸菌ノ關係左ノ如シ

井戸ノ種別及井戸側ノ種類	井戸数	大腸菌陽性ナルモノ	井戸數ニ對スル大腸菌ノ百分率
堀井 (木製)	四七九	三二六	六八・一
堀井 (瓦)	四	一	二五・〇
堀井 (玉石)	九	九	一〇〇・〇
堀井 (板石)	六	六	一〇〇・〇
堀井 (コンクリート)	六二	五二	八三・九
打込井戸	五	一	二〇・〇
計	五六五	四九四	(平均) 八七・四

井戸ノ構造殆ント大部分ハ堀井ニシテ井戸ノ側壁ハ主トシテ松板ノ木製井戸側ヲ使用セリ。近時「コンクリート」ヲ以テセルモノ漸次増加ノ傾向ニアリ。構造堀井ニシテ「コンクリート」ノ側壁ヲナスモノノ大腸菌汚染率ハ八三・九%ニシテ木製ヲ以テセルモノ六八・一%ナリ
瓦ハ二五・〇%ニシテ玉石板石等ノ側壁ヲナスハ各一〇〇・〇%ノ汚染率ヲ示ス

最モ佳良ナルハ打込井戸ニシテ全ク大腸菌ヲ證明スルヲ得ス
 六、汲水方法ト大腸菌ノ關係
 汲水方法ト大腸菌ノ關係ヲ調査スルニ左ノ如シ

種別	井戸數	大腸菌陽性數	同上百分比
ポンプ式	一五	一〇	六六・七
釣瓶式	五四二	四七六	八七・八
車井戸式	八	八	一〇〇・〇
計	五六五	四九四	平均 八七・四

汲水方法ハ其種類僅ニ前記三種ナルニ「ポンプ」式最モ佳良ナルモ尙ホ六六・七%ノ大腸菌陽性率ヲ示シ釣瓶式ハ之ニ次キ八七・八%ニシテ最モ不良ナルハ車井戸式ニシテ一〇〇・〇%ノ陽性率ヲ示ス。「ポンプ」式ニシテ大腸菌ヲ檢出スルハ掘井ニ「ポンプ」ヲ設置スル關係上、井戸側壁ノ構造不完全ナルタメ周圍ノ汚水滲透ノ結果ナランカ
 七、藍園村ニ於ケル戸數竝ニ人口ニ對スル井戸數ノ割合

A、戸數ニ對スル井戸數ノ割合

戸數	井戸數	井戸一箇ノ使用戸數
七六三	五六五	一戸三分五

B、人口ニ對スル井戸數ノ割合

人口	井戸數	井戸一箇使用人口
四、九一五	五六五	八・七

藍園村ニ於ケル戸數竝ニ人口ニ對スル井戸數ノ割合ヲ調査スルニ井戸一箇ニ對スル一戸三分五厘ニ當リ人口ハ井戸一箇ニ對シ八人七分ニ相當ス

八、藍園村ニ於ケル十箇年間ノ赤痢患者發生狀況

年次	患者數	東中富吉奥落別野内			
		東	中	富	吉
大正五年	一〇	一	二	一	五
大正六年	一八	三	一	一	一三
大正七年	八	一	一	一	六
大正八年	四	一	一	一	三
大正九年	三	一	一	一	二
大正十年	一八	二	二	一	七
大正十一年	二	一	一	一	一
大正十二年	七	一	一	一	五
大正十三年	八三	五	一	一	二〇
大正十四年	八	四	一	一	四

本村ノ既往十箇年間ニ於ケル赤痢患者發生狀況ハ右表ノ如ク時々流行狀態ヲ示ス
以上ノ成績ニヨレハ赤痢豫防ノ對策トシテハ井戸ノ構造改善カ先決問題ナラム農村ニ於ケル井戸ノ大部分ハ堀井ニシ
テ其ノ構造完全ナルモノ尠ク假令井戸側壁ヲ完全ニ築造スルモ汲水方法ニ缺陷アリテ病原菌等ノ汚染ヲ免レサル實情
ニアリ

井水中ノ大腸菌存在ノ意義ニ對シテ異論アルモ管井水ニ於ケル検査成績全ク大腸菌ヲ證明セサルニ徴スレハ其ノ原因
ハ地層ヨリ滲透水ノ侵入ヲ防クト共ニ一面手指ヨリノ汚染ヲ免ルル結果ナルヘシト思料ス故ニ消化器傳染病ノ水系傳
染ヲ豫防スルノ目的ニ對シテハ井戸中ヨリ大腸菌ノ檢出如何ヲ標準トシテ飲料水ノ適否ノ鑑識ヲナスヲ最モ良策ナリ
ト思惟ス此理由ニ依リ余ハ田村式管井ヲ賞揚シ之カ設置ヲ獎勵セルモ尙一般ニ理解乏シクシテ充分ノ普及ヲ見サルモ
若シ管井カ完全ニ普及セハ水系ニ因ル赤痢蔓延ヲ殆ト絶滅シ得ヘキハ想像ニ難カラス

第一四章 飲食物ト消化器傳染病トノ關係

第一節 販賣加熱食物ノ病原菌並ニ大腸菌汚染ノ消長ト蠅ノ關係

消化器傳染病ハ水系並ニ昆蟲或ハ手指ノ媒介ニ因リ飲食物ヲ汚染シ之ニヨリテ感染ノ因ヲナスハ勿論殊ニ生食物ニ對
シテハ一般ニ其ノ危險ノ大ナルハ是認セルモ店頭ニ陳列セル加熱食物ニ對シテハ防蠅裝置ト加熱ト云フコトニヨリ病
芽ノ附着セサルコトハ何人モ怪マス然ルニ往々消化器傳染病ノ系統不明ノ場合ニ於テ料理店、飲食店等ノ食物ニ疑ヲ
抱クヘキ場合アリ之ヲ以テ昨十四年七月以降十五年一月ニ至ル間徳島市内及郡部ノ飲食店ニ陳列セル加熱食物ニツキ
消化器系病原菌並ニ大腸菌附着ノ有無ト蠅トノ關係ニ對シ左記ノ検査ヲ施行セリ

一、飲食店ノ概況

郡市ヲ通シテ多數ノ飲食店ヲ觀察スルニ其ノ何レモ需用者ハ中産階級以下ノモノ殆ント全部ヲ占メ販賣食物ハ魚、獸
肉並ニ干物野菜等ノ煮付及ヒ壽司、赤飯等所謂繩暖簾式ノモノニシテ陳列場所ハ店頭ニアリテ不完全或ハ完全ナル
防蠅施設ヲ爲ス

炊事場所ハ大抵家ノ裏ニアリテ便所ト接近スルヲ普通トス一部ノ箇所ニアリテハ裏家密集シ共用便所、共用井戸ヲ
使用スルモノアリ而モ便所、井戸ノ構造ハ極メテ不完全ノモノアリ

食物取扱場所ハ魚類ノ内臟其ノ他炊事物ノ殘屑散亂シ夏期ニハ蠅之ニ蟻集ス而モ販賣ニ供スルマテノ食物ハ取扱場所
ノ柵ニ貯藏シ店頭ニ陳列スルモノハ「サンブル」ニ過キス

故ニ此貯藏場所ニ於テ蠅ハ自由ニ其食物ヲ汚染シツツアルヲ認ム要スルニ店頭ニ於ケル防蠅施設ハ防疫上ニハ何等價
値ヲ認メス一面取扱者ニ於テハ衛生的知識ヲ有スルモノ甚タ尠シ

二、検査方法

検査材料ノ採取ニハ検査員出張シ滅菌セル鑷子ヲ以テ食物ノ一片「ブイオン」一〇cc中ニ投入シ十八時間—二十時間
孵室中ニ置き後之ヲ遠藤氏平板培養基面ニ塗抹シ更ニ孵室中十八時間—二十時間置き發育セル「コロニー」中ヨリ大
腸菌並ニ病原菌ニ疑ハシキ「コロニー」ヲ鈎菌シ形態ヲ檢シ桿菌ハ葡萄糖高層寒天培養基ニ穿刺シ瓦斯發生ノ有無ヲ檢
シ瓦斯發生スルモノハ更ニ牛乳培地ニ移シ之ヲ凝固スルモノヲ大腸菌ト決定セリ瓦斯發生セサルモノハ普通寒天斜面
培養基ニ移植シ「チフス」並ニ赤痢菌ノ生物學的検査ヲ行ヒ「チフス」菌「バラチフス」菌何レモ各免疫血清三百倍以上ノ
モノヲ陽性ト決定ス

三、検査成績

大正十四年七月中

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類		大腸菌数	検査数ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌		
魚類	五二	一	B一	四一	七八・九
野菜類	二九	—	—	二三	七九・三
乾物類	三〇	—	—	二三	七六・六
豆腐類	一七	—	—	一七	一〇〇・〇
醬油類	五	—	—	四	八〇・〇
菓子類	五二	—	—	三七	七一・一
菜類	一四	—	—	一二	八五・七
油類	五	—	—	四	八〇・〇
肉類	—	—	—	—	—
計	二〇四	二	B一	一六一	平均 七八・九

大正十四年八月中

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類		大腸菌数	検査数ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌		
魚類	四一	—	—	—	九五・一

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査数ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
野菜類	五〇				四九	九八・〇
乾物類	二五				二四	九六・〇
豆腐類	一四				一三	九二・八
菓子類	一一				九	八一・八
油揚類	一〇				一〇	一〇〇・〇
麵類	八				八	一〇〇・〇
肉類	一				一	一〇〇・〇
計	一五九				一五二	九五・六
					平均	

一六八

大正十四年九月中

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査数ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
魚類	二二				一〇	八三・三
野菜類	三〇	一			二三	七六・七
乾物類	二三				一六	六九・六
計	八〇	一			六三	七八・七
					平均	

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査数ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
魚類	三〇				一九	六三・三
野菜類	三〇				一八	六〇・〇
乾物類	六				五	八三・三
豆腐類	一七				一一	六四・七
菓子類	三				二	六六・七
計	一〇六				六三	七八・七
					平均	

大正十四年十月中

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査数ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
魚類	三〇				一九	六三・三
野菜類	三〇				一八	六〇・〇
乾物類	六				五	八三・三
豆腐類	一七				一一	六四・七
菓子類	三				二	六六・七
計	一〇六				六三	七八・七
					平均	

一六九

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査數ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
魚類	二二				一二	五七・一
野菜類	二六				一四	五三・五
乾物類	二〇				七	三五・〇
豆腐類	二二				六	二八・七
醬油類	三					
菓子類						
油類	七				四	五七・一

大正十四年十二月中

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査數ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
菓子類	二				九	八一・八
油類	一				一	一〇〇・〇
麵類						
肉類						
卵類	九				五一	五一・五
計					平均	五一・五

大正十四年十一月中

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査數ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
魚類	一六				九	五六・三
野菜類	三〇				一七	五六・六
乾物類	八				一	一三・三
豆腐類	三三				一四	四二・二
醬油類						
計					平均	四二・二

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査數ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
菓子類	一〇				五	五〇・〇
油類	二				二	一〇〇・〇
麵類	二					
肉類						
卵類	一					
計					平均	六二・〇

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査数ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
計	100				44	平均 44.0
卵類	2				2	100.0
肉類						
麩類						

大正十五年一月中

検査品目	検査件数	検出病原菌ノ種類			大腸菌数	検査数ニ對スル大腸菌ノ%
		腸チフス菌	パラチフス菌	赤痢菌		
魚類	23				2	54.5
野菜類	23				1	50.0
乾物類	10				5	50.0
豆腐類	33				10	30.3
醬油類	1				1	100.0
菓子類						
油類	13				1	8.3
計	100				40	平均 40.0

前表ニ依レハ其ノ検査成績ハ七箇月間ニ於テ總検査數八四五例ニシテ其ノ中病原菌ハ七月及九月中ニ腸「チフス」三例「パラチフスB」一例ヲ證明ス

七月、二〇七例中七八・七%ノ大腸菌ヲ檢出シ
 八月、一五九例中九五・七%ノ大腸菌ヲ檢出シ検査中最高率ヲ示ス
 九月、八〇例中七八・八%ノ大腸菌ヲ檢出シ
 十月、一〇〇例中六二・%ノ大腸菌ヲ檢出セリ
 十一月、九九例中五一・五%ノ大腸菌ヲ檢出シ
 十二月、一〇〇例中四四・%ノ大腸菌ヲ檢出セリ
 十五年一月、一〇〇例中四〇・%ノ大腸菌ヲ檢出ス
 腸「チフス」菌三例「パラチフス」一例ヲ證明セシ店舗ノ全家族ニ對シ菌検査ヲ行ヒシモ保菌者ヲ發見スルヲ得ス

四、大腸菌汚染ト蠅ノ關係

之カ調査ニ着手セル時期ハ蠅ノ發生期ヲ經過シタル七月初旬ヨリ開始シタルヲ以テ其ノ以前ノ時期ニ於ケル狀況ヲ觀察シ得ス七月―九月ノ間ハ蠅ノ棲息最モ旺盛ナル時期ニシテ十月ニ入りテハ一般家庭ニハ殆ント蠅ノ棲息ヲ認めサル

モ飲食店ニ於テハ尙群集スルヲ認メ十一月ニ至リ著シク減少セルヲ以テ之レカ絶滅ノ期ヲ確メムカ爲ニ別表ノ如ク飲食店五軒ヲ選ヒ毎日捕蠅數ヲ計算シタリシニ一、三四六匹ヲ得十二月ニ入ルモ絶滅ヲ見ス漸ク中旬ヲ經過シテ始メテ全ク棲息セサルヲ見タリ其ノ成績別表ノ如シ

十一月中ノ捕蠅成績

捕蠅場所	種別							計
	家	蠅	蠅	大家	蠅	蠅	蠅	
赤○飲食店	二三四	四	二〇八	三	三	三	二	四四六
阿○飲食店	二五八	二	三四	三	三	三	二	二九九
手○飲食店	一五二	一	六	一	一	一	一	一六七
中○飲食店	一五〇	一	二九	一	一	一	一	一七九
長○飲食店	一七六	三	四九	三	二〇	一	四	二五五
計	九七〇	一〇	三二六	三	三一	六	一、三四六	

十二月中ノ捕蠅成績

捕蠅場所	種別							計
	家	蠅	蠅	大家	蠅	蠅	蠅	
赤○飲食店	二四	一	一	一	一	一	一	三四
阿○飲食店	五〇一	三	三	三	一	一	一	五一五
手○飲食店	五三	二	二	五	一	一	一	六三
計	六五三	八	二〇	二七	一	三	七一二	

蠅ノ棲息數ト大腸菌ノ檢出トヲ對比スルニ蠅ノ旺盛期ニ於テハ大腸菌ノ檢出率最モ多ク蠅ノ減少ト共ニ其ノ檢出モ亦夕漸次減少ヲ來セリ

然ルニ一月ニ入りテハ蠅ハ全ク棲息セサルニ拘ラス大腸菌檢出ハ尙四〇・〇%ヲ見ル一面夏季ニ於ケル大腸菌ハ氣温ノ關係上其ノ附着セル場所ニ於テ繁殖スルコトハ勿論考ヘ得ヘキコトナルモ大多數ハ蠅ニ依リテ汚染セラルルモノト思考ス然レトモ一面飲食物ノ汚染ハ單ニ其ノ罪ヲ蠅ニノミ嫁スヘキモノニアラス主ニ取扱者ノ衛生的知識ヲ有セサルト調理所ノ不潔ナルトニ基因シ汚染セラルルモノ亦尠カラス

從テ防疫上之等ノ改善ハ緊要ナルモノト思考ス殊ニ七月、九月ニ於テ腸「チフス」菌「バラチフス」菌ヲ四例證明セル點ヨリ見ルモ需要者ハ加熱飲食物トシテ何等顧慮スルコトナク之ヲ食スルカ爲動モスレハ消化器傳染病ニ感染スルハ自明ノ理ニシテ疑フノ餘地ナシ

本報告ノ主題タル赤痢病原體ヲ檢出シ能ハサリシヲ遺憾トスレトモ上述ノ如ク多數ノ大腸菌並數例ノ腸「チフス」菌「バラチフス」菌ヲ證明シ得タル點ヨリ推察スレハ赤痢菌モ亦當然之ニ附着シ傳染スルコトアルヘント思惟セラル

醫海時報(大正十三年一、五八四號)大野氏ハ「消化器急性傳染病豫防方法の正鵠を論ず」ト云ヘル題ノ下ニ「傳染病流行時又ハ流行地ニ於テ官民共ニ居室内ノ家蠅ノ驅除ニ努メ不潔性ヲ有スル金蠅、縞蠅カ便所ト炊事ヲ直接交通シアルニハ更ニ留意セサル奇觀ヲ呈ス殊ニ甚シキ例ニ至リテハ其地ニ於テ傳染病流行時蠅ヲ買上ケタルヲ見ルニ主

ニ家蠅ニシテ何レノ蠅ノ最モ恐ル可キヤヲ知ラサルヲ思ハシム實際ニ於テ一般民間ニ於テハ消化器急性傳染媒介者トシテ主ナル役目ヲ演スルハ家蠅ト思惟シアリ云々ト

以上ノ如ク某氏ハ家蠅ハ消化器傳染、病原體ヲ傳播スルモノニアラサルカノ如ク論セラルルモ氏ノ所論ハ或都市ニ於ケルノミノ觀察ニハアラサルカ田舎ニ於ケル實情ハ消化器傳染病ノ傳播ニ對シテハ家蠅ハ最モ重大ナル傳染媒介ノ役目ヲ有スルカ如何トナレハ小兒赤痢患者ノ場合ニ於テハ頻回ナル患者ノ排便ハ常ニ椽側ヨリ之ヲ行ヒ(余ハ之ヲ野糞ノ一種トシ之ニ庭糞ト命名ス)直ニ之カ仕末ヲ爲スコトナクシテ放置スル爲蠅ハ之ニ蠅集シ直ニ食物ニ交通ス又重症患者ニ至リテハ寢室内ニ於テ數十回ノ排便ヲナス爲之ニ汚染セル紙片布片等ハ隨所ニ散亂シ蠅ハ之ニ密集シ其ノ附近ニ於ケル食物ハ亦タ無蓋ノ儘放置セラルルヲ以テ蠅ノ蠅集ハ頗ル自由ナリ從テ之ニヨル所ノ傳播ハ屢々實驗スル所ナリ。又大正十四年ノ流行ノ一場所ニ於テ徹底的驅蠅施設ヲ爲シ流行ヲ制壓シタル實例モアリ故ニ赤痢流行時ニ於テハ家蠅ノ驅除ハ決シテ等閑ニ附ス可キニアラス當ニ家蠅ノミナラス一般民間ニ介意セラレサル狸々蠅ニアリテモ余ノ實驗スル所ニテハ病原體傳播ノ役目ヲ營ムモノト思惟ス即チ實驗方法トシテハ平板寒天培養基ヲ狸々蠅ヨリ以外ノ蠅カ出入ヲ許ササル金網ヲ張りタル箱中ニ收メ農家ノ糞所ニ數時間放置シ後之ヲ檢索スルニ多數ノ大腸菌ヲ證明シタリ又不潔ナル赤痢患者ノ便器中ニ狸々蠅ノ密集スルヲ實驗シ之レヨリ赤痢菌ノ檢出ヲ企テタルコトアルモ不結果ニ終レリ

德島縣下ニ於ケル飲食店數

德島	市別	飲食店數	郡市別	飲食店數
	德島市	九四	板野郡	二二二

名	海部郡	那賀郡	勝浦郡	名東郡
名	西郡	郡	郡	郡
計	四五	一八三	八九	四五
	三	美馬郡	麻植郡	阿波郡
	好郡	郡	郡	郡
計	五〇	三	三	三
	一、二八三	二四八	一八八	五七

前表ニ依レハ縣下ニ於ケル飲食店ノ總數一、二八三戸ヲ算ス而シテ之レカ取締狀況ハ左ノ如シ

大正十四年ハ赤痢流行季節七月八月九月ノ三ヶ月ニ亘リ特ニ飲食物ノ取締ヲ嚴重ニ執行方ヲ縣下警察官署長ニ示達シ取締ヲ勵行セルニ其成績左ノ如シ

種	類	検査件數	有害件數	同上百分比	處分件數		有害理由
					告發	廢棄	
煮付其他	物類	五一六	二一四	四一・四七	二二	二三	覆蓋ナキモノ及腐敗セルモノ
麵類	類	二八七	九六	三三・四五	三	七	腐敗及覆蓋ナキモノ
菜子	子	二、五四八	一、二一五	四七・六八	七九	四七一	腐敗
生魚	魚	二五	一二	四八・〇〇	五	二	同
獸肉	肉	一四四	四	二七・七八	一	一	同
果實	實	六、五一	二、二九三	三五・二二	一一	一、八五五	不熟及腐敗
計		一〇、〇三二	三、八三四	三八・二二	一一一	二、三三八	

即ち検査件数一萬三十一件ニ達シ不良ト認メタルモノ三千八百三十四件告發百二十一件廢棄二千三百五十八件アリ

第二節 清涼飲料水ト消化器傳染病トノ關係

清涼飲料水中地方ニ於テ小兒並ニ病者ニ最モ多量ニ利用セララルルハ蜜柑水ナリ。本品ハ價格廉ニシテ甘味多ク殊ニ小兒ノ嗜好ニ適ス

昨十四年ノ夏赤痢ノ流行季節ニ於テ一警察署ヨリ蜜柑水カ原因トナリ一家二名ノ赤痢患者發生セリトノ報告ト共ニ蜜柑水中ニ於ケル赤痢菌ノ檢索方依頼ニ接シ檢査ヲ施行セシニ赤痢菌ハ證明シ得サリシカ大腸菌ヲ證明シ得タル事實アリ。開業醫師間ニ於テモ蜜柑水カ疫痢又ハ赤痢ノ原因ヲナスコトヲ主張スルモノ多數アルヲ以テ之カ檢索ヲ屢々施行セルモ遂ニ赤痢菌ヲ證明セルモノ一例モナシ然ルニ蜜柑水ノ製造方法並ニ之レカ利用狀態ヨリ見ルモ消化器傳染病トニ連鎖アルモノト思考シ左ノ如キ檢査ヲ施行セリ

一、原料水中ノ大腸菌

二、蜜柑水中ノ細菌數

德島市内ノ製造工場十箇所ノ原料水ヲ採取シ大腸菌ノ有無ヲ檢査セルニ一〇中四例ノ大腸菌ヲ證明セリ
 德島市内十五箇所ニ於テ製造セル蜜柑水一五例ニツキ製造後約五時間ヲ經過セルモノノ細菌數ヲ檢査シ其保存方法ヲ室溫井水氷室等ニ貯藏シ細菌數ノ増減ヲ檢査スルニ左表ノ成績ヲ得タリ

一C.C.中ノ細菌聚落數並ニ其増減ノ差 (△印ハ減)

番	號	製造月日	貯藏方法及度	檢査日	細菌數	細菌増減ノ差	病原菌ノ有無	貯藏時間	P.H.
---	---	------	--------	-----	-----	--------	--------	------	------

第一號	十月五日	室内	三七	10.15	3,010	—	—	五	五・六
		同	二五	10.17	2,350	3,160	—	四	五・六
		同	三三	10.19	8,660	5,710	—	九	五・六
		井水	一九	10.17	2,600	2,730	—	四	五・六
		同	二六	10.19	6,840	3,770	—	九	五・六
		氷室	二二	10.17	3,780	6,310	—	八	五・六
		同	一一	10.19	5,560	2,810	—	九	五・六
		室内	三三	10.10	2,150	—	—	五	五・六
		同	三三	10.11	2,740	2,900	—	八	五・六
		同	三三	10.11	2,380	1,010	—	九	五・六
		同	三三	10.11	2,700	2,900	—	八	五・六
		第二號	十月十日	井水	一八・五	10.11	2,590	2,940	—
同	一八・五			10.11	3,980	1,770	—	九	五・六
氷室	一一			10.11	2,200	1,020	—	八	五・六
同	二二			10.11	2,460	2,770	—	九	五・六
室内	三三			10.11	2,900	2,970	—	九	五・六
同	三三			10.11	2,490	2,670	—	八	五・六
同	三三			10.11	2,600	2,670	—	九	五・六
室内	三三			10.10	1,930	—	—	五	五・七
同	三三			10.11	1,480	1,790	—	八	五・七
同	三三			10.11	1,310	1,580	—	九	五・七
同	三三			10.11	2,040	2,740	—	九	五・七

番 號	製 造 月 日	貯藏方法及 度	月 檢 査 日	細 菌 數	細 菌 增 減	病 原 菌	貯 藏 時 間	P.H.	
									有 無
第 三 號	十 月 十 日	井水	一八・五	一〇、三	九、六〇	八〇、三〇	—	四	五・七
		同	一八・五	一〇、四	一〇、三〇	〇、九〇	—	四	五・七
		水室	二	一〇、三	五〇、五〇	一六、〇〇	—	四	五・七
		同	二	一〇、四	九、四〇	—	—	四	五・七
		室內	三	一〇、三	八、一〇	—	チフス菌〇	五	五・七
第 四 號	十 月 十 三 日	同	三	一〇、三	八、一〇	—	—	五	五・七
		同	三	一〇、五	二、一五	三、九〇	—	四	五・七
		井水	一八・五	一〇、五	一六、四〇	八、三〇	—	四	五・七
		同	一八・五	一〇、七	五九、〇〇	五〇、二〇	—	四	五・七
		水室	二	一〇、五	三、九〇	四、〇〇	—	四	五・七
第 五 號	九 月 二 十 四 日	同	二	一〇、七	二、九〇	一、七〇	—	四	五・七
		室內	三	九、二四	八、一〇	—	—	五	五・八
		同	二	九、二	二〇、一〇	二、〇〇	—	四	五・八
		同	三	九、二	一〇、一〇	九、九二	—	四	五・八
		井水	一九	九、二	五、一〇〇	四、〇二	—	四	五・八

番 號	製 造 月 日	貯藏方法及 度	月 檢 査 日	細 菌 數	細 菌 增 減	病 原 菌	貯 藏 時 間	P.H.	
									有 無
第 六 號	十 月 二 十 一 日	同	二	九、二	七、六一	—	—	六	五・八
		水室	二	九、二	六、〇	七、四三	—	四	五・八
		同	二	九、六	二、〇〇	一、八二	—	四	五・八
		室內	三	一〇、二	三、〇〇	—	—	五	五・六
		同	三	一〇、二	一、〇〇〇	九、八六	—	四	五・六
第 七 號	十 月 五 日	同	三	一〇、二	一〇、九〇	九、八六	—	四	五・六
		井水	一八・五	一〇、二	八、九〇	五、〇〇	—	四	五・六
		同	一八・五	一〇、三	三九、七〇	三五、九〇	—	四	五・六
		水室	二	一〇、二	〇、七	〇、〇〇	—	四	五・六
		同	二	一〇、二	〇、七	〇、〇〇	—	四	五・六